

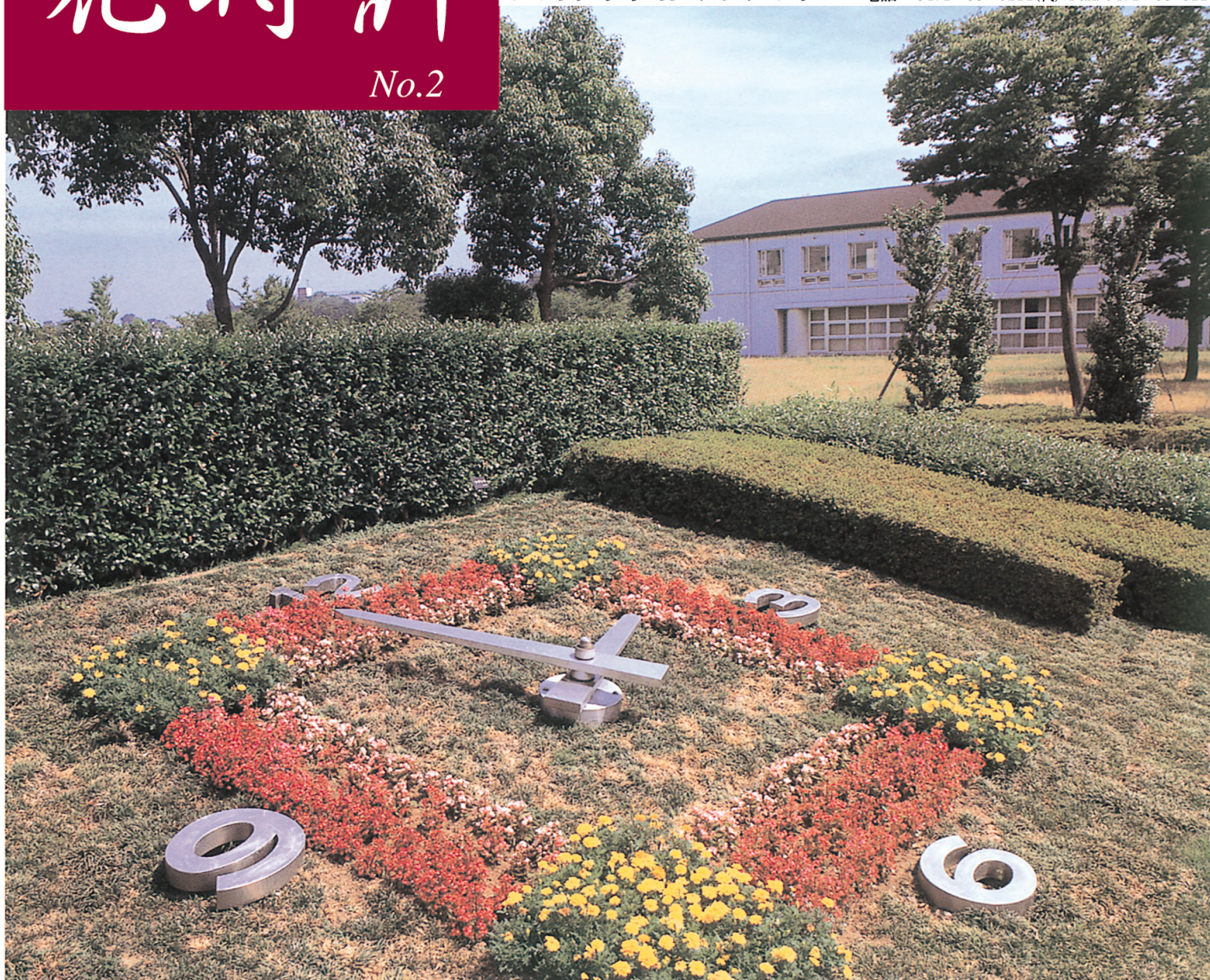
花時計

No.2

Kawamura Gakuen Woman's University

川村学園女子大学

住所 千葉県我孫子市下ヶ戸1133番地
電話 0471-83-0111(代) Fax. 0471-83-0115



「新校舎」に向けて

副学長 奥田眞丈

川村学園女子大学は昭和63年に文学部を開設後、平成3年に教育学部を増設し、これに伴い8号館（図書情報棟）、その後、9号館（クラブ棟）10号館（学生ホール）が完成しました。そして21世紀を間近にして、更に新校舎「図書館棟」を平成11年3月完成に向けて、現在建設中でございます。これも偏に、皆様方のご支援とご協力あつての実現となりました事を衷心より御礼申し上げます。新校舎の概要について、申し上げますと、図書館（4階建）と研究室（6階建）が隣接しており延床面積が約3,500坪となっております。この新校舎建設により、更なる文系女子総合大学を目指すと共に学生の意欲と希望が発展向上する事を強く望む次第でございます。

この広報紙「花時計」を通じて、皆様に川村学園女子大学の将来構想の一端をご紹介できることを大変嬉しく思うと同時に、川村学園女子大学が新たな時代に向けて邁進している姿を、皆様にご高察くだされば幸いに存じます。第2号の発行にあたり、所感を申し上げまして、ご挨拶といたします。

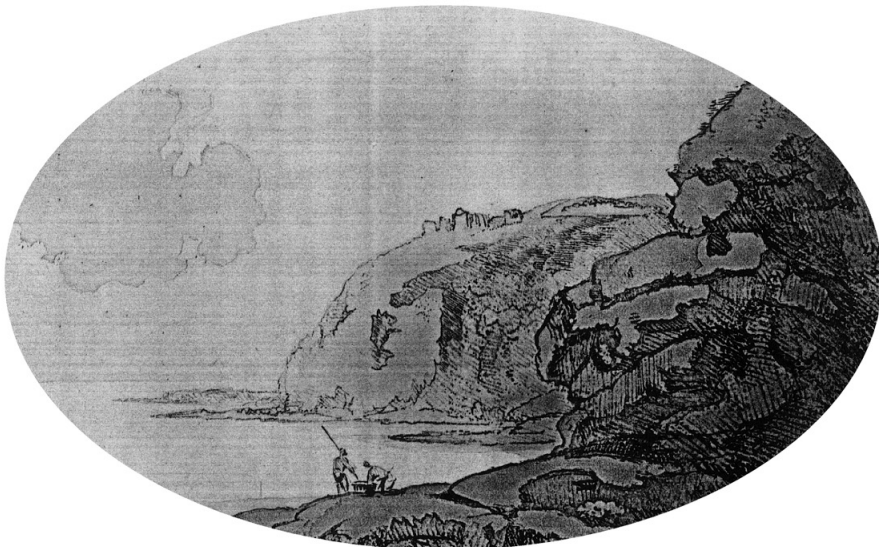
教職員の素顔

私の宝物

田中 淑子 英語英文学科教授

私の宝物は、ウィリアム・ギルピンが書いた *Observations On The Coast Of Hampshire, Sussex And Kent, Relative Chiefly To Picturesque Beauty: Made In The Summer Of The Year 1774.* である。ギルピンは風景の時代といわれ旅が流行した18世紀に、イギリス全国を巡り、絵にしたらよさそうな（ピクチャレスク）風景について、多くの紀行文を書いた。本書はその一つである。

ピクチャレスクとは、崇高と結びついた美的観点で、見る者の心に危機感や解放感をかき立てる、荒々しさや複雑さを備えた風景を描写するのに使われた言葉である。人々はクロード・グラスといわれる楕円形の鏡をもって旅し、その鏡のなかに、いかにうまく風景を写し取るか競った。人々が、美しい景色に背を向け



て、小さい鏡のなかを凝視している図は愉快である。

この本にも、ギルピンが、楕円形の鏡のなかに写し取った風景がたくさん挿入

されている。ページは変色しシミだらけであるが、滲んだ風景画から18世紀のイギリスの典雅な旅の様子が彷彿され私の心も解放されるのである。

日舞に魅せられて

菊地 明子 幼児教育学科助教授

「ご趣味は？」と問われるとはたと困る。生来の見たい、聞きたい、試したい、の状況はいまだ変容せず、そのための時間と必要経費の捻出に窮々としている。

旅、これは今や日常化していて毎日が旅状態。食の楽しみは心身の健康に必要不可欠、故に趣味とはいえぬ。

さて、趣味について身近な女性が二人、私に進言した。一人は祖母。就職した若い孫娘に「趣味を持ちなさい。でも深入りはダメ、本業があるんだからネ。」後

年読んだ山本周五郎の『日本婦道記』に姑が嫁にさす同じような言葉があった。嫁の本業は『武士の妻』。私はまずお茶を習い始めた。教えを守り淡い交りで少しも進歩せず、茶道の『道』の方は捨て去り、自分流を楽しむこの頃である。もう一人は母。「60の手習いなんてダメよ、やるなら40代に始めなきゃ。」しかし40代は最も忙しい時だった。しかし自由は確保してあるではないか、と虚弱児時代に習わされた日舞を選んだ。『お金はかけないで』の誓は『目的を持つことは大切』の大義名文に破れ、時には恥づかしながら舞台にのることになる。変身の楽しみ、この日だけはスター!!の味は何と毒を含んでいることか。この夏、ニュージーランドマオリの女子大学で文化交流のため、『サクラ』と『門松』というのを踊った。お茶の方はたまに外国のお客様に、竜安寺などでのお呈茶の折、喰み方のモデルなどする。少しは役に立っているかしらと思っている。

動と静、この二つは、私の生活のスパイスとなり、人生の味をひきしめてくれていると思う。趣味は続けること、そしてその秘訣は唯ひとつ、よき師を得ること。勿論よい弟子になる努力は必要だけれども。よき師はよき友を呼び心穏やかに、かつ、刺激的な波をつくってくれる。

◀国立劇場にて



せい か たんでん

臍下丹田

野村志摩夫 学務部学生課係長

私は、精神及び肉体共に安定且つ充実している。これも偏に私のライフワーク

の一つである武道の御陰である。

この様な中で、私の特技（少林寺拳法5段日本大学本部少林寺拳法部OB 元コーチ）を活かし、ボランティアとして、印旛郡栄町の道場（日大OBの道場）で



少林寺拳法の技術指導にあたっている。特に関東地区は、日本大学のOBが多いため、恵まれた環境の中でボランティア活動ができることを大変嬉しく思っている。

青少年（成人含む）に少林寺拳法の技（突蹴りの剛法及び柔法）を教えながら、他の一方で、本当の武道（心<気>を丹田に下げる事「臍下丹田」＝気持ちを沈める＝老子哲学）も教えていきたいと思っている。

私の指導内容を簡単に言えば、まず初めは、技術の向上そして大会に入賞を目指す、最終的には武道を通じて、人間の本当の強さを知る事である。ここで特に大切な事は、技術が向上しない練習生に対して、何か一つの技に大きい自信を持たせ「自分はヘタだ」という劣等感を絶対に持たせない事である。（一招（1技）熟練）

自分が指導した練習生の中から日本国そして世界を支えていく人間が生まれる事を心から願っている次第である。

インターネット囲碁

畠山 章 情報教育学科学生研究室

問 なんでも、インターネットで囲碁をやっているそうですが、いつからですか？

答 1年半位前に始めました。

問 「インターネットで囲碁」とは、どんなものなんでしょうか？

答 囲碁センターシステムというものがあまして、そこに接続してやる事になります。代表的な囲碁センターシステムとしては「WWGo」や「PANDA」などが有名です。利用者は日本人だけでなく、海外の人も囲碁をしています。

問 なるほど海外でも囲碁をやる人はいるんですね。

インターネットが出来れば「インターネットで囲碁」というのも簡単に出来るものなんでしょうか？

答 そうですね、インターネットができる環境の他に囲碁センターシステムに登録をし、対局に必要なソフトをダウンロードすれば出来るようになります。

問 それでは、どんな感じで対局に入るのでしょうか？

答 囲碁センターシステムに入ると時間にもよりますが、対局待ちの方が

100人位います。その中から自分のランクに近い相手を探して対局の申し込みをします。

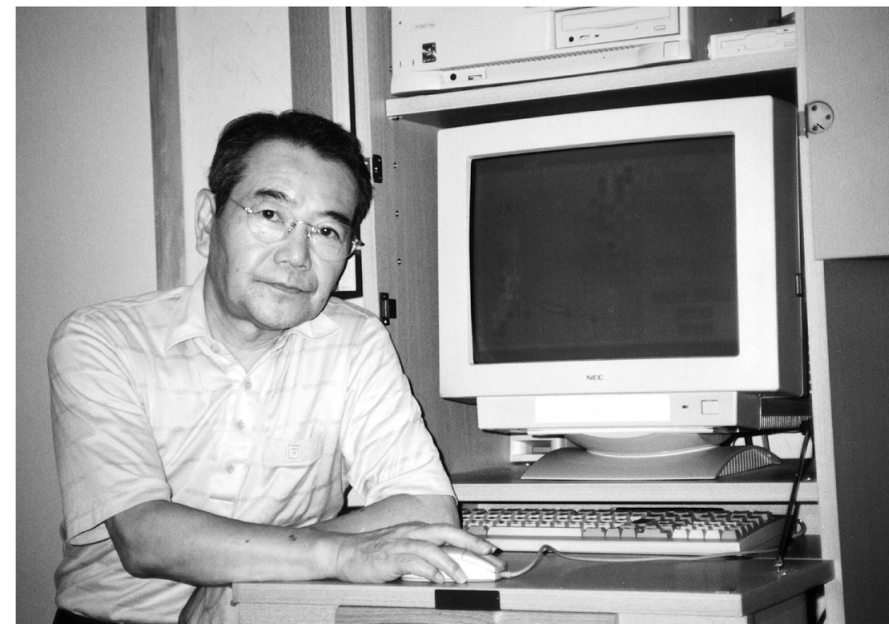
問 いつも100人位いるんですか。これならいつでも自分の強さにあった相手を探せますね。

実際の問題点として「インターネットで囲碁」というのは実際の囲碁とはどういった点が違うのでしょうか？

答 便利な点としては、実際に自分が行うのは基石を置くという動作だけです。

最終的な計算などはコンピュータが自動的にしてくれるので簡単です。困った点は、インターネットですらで回線が混んでくると反応が遅くなりスムーズに出来なくなったり、中には回線が切れてしまうこともあります。

その他には海外では何故か「待った」の習慣がありまして（本来はない）ときどき「待った」をしてくるとびっくりしますね。



在学生の風景

スポーツデー報告

平成9年度 スポーツデー
 日時：平成9年5月31日（土）
 9：00～15：00
 場所：川村学園女子大学（体育館・
 グランド・テニスコート他）
 参加者：全学年及び、教職員有志
 競技種目：バレーボール
 ドッジボール
 ユニホック（レクリエーションホッケー）
 キックベースボール

スポーツデー前日、準備の日、梅雨の影響で天気あまり良くなかった。テントの設置も、次の日の本番の天気によって左右されるため、用意だけをする事になった。夕方のニュースも雨の予報だったが、本番当日は、晴天に恵まれ、スポーツデーの盛り上がりを応援するかのようなお天気だった。参加者は約300名、新入生歓迎のスポーツによる親睦を目指し、参加者を求めたが、予想していた人数よりも少なく、新入生や、教職員の方が大多数という状態で、2～4学年の方よりも目立った。

グランドではキックベースボールが行われ、体育館でバレーボール、テニスコートでドッジボールとユニホックが行われた。

競技の方も順調に進み、時間も予定通りに進んでいった。かけもちで競技している人も多く、テニスコートから体育館まで、急いで走っている人も目についた。賞品が出るということで、学生の中には、頑張って真剣に優勝をねらっていた強いチームも多数あった。進行は、実行委員会が主体となり、学生の協力によってスポーツデーは行われた。賞状も実行委員の手作りによるものであった。

スポーツデーの企画から実行まで、十分な時間がなかったため、隅々までゆきとどかないところがあったが、汗を流しながら学生や教職員、実行委員会は、頑張っていたのである。楽しくスポーツが行われたことが、なによりの成果であった。

平成9年度体育祭実行委員会委員長
 社会教育学科3年 高橋 純佳

手話コンテスト優勝

英語英文学科4年 丸山 道子

「第14回全国高校生、大学生の手話によるスピーチコンテスト」（朝日新聞社、全日本ろうあ連盟主催、厚生省・文部省後援）に参加をした。このコンテストは、手話の普及とボランティア活動、福祉教育の推進のために開催されている。原稿とビデオ審査で選ばれた高校生と大学生が出場し、体験や福祉の内容を口話と手話でスピーチするものである。秋篠宮妃殿下もお見えになり口話と手話で挨拶された。

私の題材は、「苛めの芽は幼児期に摘む」という内容である。二つの危惧があった。題材と審査員による質疑応答である。出場者の大半は、手話に関する演題を選んでいただけに、異質な演題に大きな不安感があった。コンテストの審査は内容、表現、態度、質疑応答の四項目で評価され、且つ限られた時間の中でスピーチをしなければならない。内容に関しては、覚えてきた事を披露すればよいのであるが、何が飛び出してくるかわからない審査員の質問に口話と手話で答えることができるだろうかと、自分の番が近づくと胃がキリキリと痛んだ。質疑応答も壇上で行なわれ、聴衆者も見ている。

昼食時に、秋篠宮妃殿下とお会いすることができた。「手話との出会いを大切にしながら、今後も励まれますことを期



待しております。」と笑顔で声をかけて下さった。握手もしていただき、肌で感動を感じた。

午後から大学生の部に入った。私は最後の出場、不安感が絶頂に達した。目の眩むようなスポットライトを浴びて、沢山の聴衆者の中で演説が始まった。真っ白くなった目の中に正面の貴賓席に座られている紀子様が映った。妃殿下に話しかけるように演技を続けた。私の話しに紀様が頷かれているのが、はっきりとわかった。

審査発表で、第一位の名前を耳にしたときの感動は、生涯忘れることのできない素晴らしい思い出となった。「優勝」という二文字の凄さに驚愕した。朝日新聞の全国版に写真入りで掲載され、テレビにも放映された。市長との会見もあり広報紙や、地域紙数社にも取り上げられた。

今回の優勝は、私個人の力ではない。手話表現を指導して下さいった聾啞者の方々や、協力して下さいった多くの人々に深く感謝をしている。



国際コミュニケーション—オックスフォード・ブルックス大学研修—

英語英文学科3年 奥ノ木伸江

本学の国際コミュニケーションを選択した私たち21名はイギリスのオックスフォードへ行き、ブルックス大学で3週間学んできました。平日はずっと英語の授業で、授業を通していろいろなイギリスの文化を学びました。また、週末は湖水地方やロンドンへ小旅行をしたり、放課後には演劇鑑賞やスポーツ等の様々なプログラムがあり、最終的にはグループで興味を持った事を詳しく調べて発表する「プロジェクト」を行いました。私たちのグループは“Cultural Difference”（文化の違い）について日英比較をしました。イギリスに来て実際に肌で感じた事や、授業で習った事を中心に発表しました。現地での生活は分からない事や戸惑う事もありましたが、友人と互いに切磋琢磨して無事にオックスフォードでの



研修を終えてきました。学生のうちでしか出来ない貴重な体験が出来たことは、

私の一生の財産になると思います。

関東優勝に貢献

ゴルフ部

川村学園女子大学ゴルフ部は、今年の7月から、全日本学生ゴルフ連盟に所属することができ、学連としてさらに部員全員が一体となって、毎日練習に励んでいます。

その練習の成果を生かして、平成9年8月20日から22日にかけて、岐阜で行われた「全日本杯」に出場しました。この

大会は、関東と関西の学生が対決する大きな大会で、団体戦では、結果として関東が優勝し、本学のゴルフ部もその優勝に貢献できうれしく思います。

現在の部員数は1年生から4年生まで、28人で、週2回、柏市にある「美里ゴルフセンター」で、プロにご指導していただいています。この秋には、また大きな大会や月例会があるので、今までの練習を生かせるように頑張りたいと思います。



世界舞踊祭に出演

ダンス部

世界各国より様々な人々が集う1998年長野オリンピック冬期大会開催を前に、舞踊をととして、人々の交流と相互理解を深め、世界平和の促進と学術研究に貢献することを目的に、長野オリンピック文化・芸術祭参加「世界舞踊祭」が開催されました。本学ダンス部はこの大会に出演して、イサドラ・ダンカン・ダンスのレパートリーを踊りました。

期日：平成9年11月8日（土）
 会場：埼玉県民活動総合センター（埼玉県伊那町）

学生食堂人気ベスト5

- 1位 みそラーメン
- 2位 日替り定食
- 3位 カレーライス（大・小）
- 4位 オムライス
- 5位 学食うどん

これからもみなさまのためにおいしい学食をご提供いたします。ご協力ありがとうございました。

「まるしん亭」

新しい顔

早川克巳

一般教育課程教授

かつてテニスが趣味とっていました
が、息子が中学生の時にかなわなくなり、
今はもっぱらコートサイドとテレビの前
で、手に酒（しゅ）。ただし所属クラ
ブは日本最古、皇太子時代の天皇・皇后
が名誉会員の横浜インターナショナル・
テニス・コミュニティー（フェリスや山
手教会の裏）ですから、プレーご希望の
方はいつでもどうぞ。仲間（会員の半分
は外国人）が相手をしてくれます。帰
りは中華街の安くておいしいところへ。

日本モーツァルト協会の会員でもあり
ます。正会員はケッヘル番号にちなみ
626人。小生のK187は偽作といわれて
いる作品。例会では、つい夢路に誘われ
てしまうゝモツ狂、には、ふさわしいとい
えるでしょう。やがてCD全集をワイン
片手に楽しむ日が来ればいい――とは何
てキザな。

現実的な趣味は映画。カミさんが目く
じら立てるのに耐えて、カラコロと下駄
をはいて近くのシネマコンプレックス
へ。何とシニア割引制で千円で見られる
のです。ほかには日本記者クラブの試写
会などとあわせて年間50本は下りませ
ん。最近見た作品でよかったのは「阿片
戦争」(中国)、「アントニア」(蘭英合作)、
「ある老女の物語」(豪)など。好きな女
優サンは原節子、ジョディ・フォスター、
吉川ひなの。モンローとマドンナも大い
に買っています。

まじめなところではNGO・NPO活
動。ケニアにフォースタープランによる
中学生男女のゝ隠し子、がいてその成長
が楽しみ。「子供と地球の未来のために
2050」というグループで途上国の女性の
自立と子供たちの就学支援にお熱をあ
げています。それで今年も中国へ行って、
シンポジウムに参加して来ました。さら
に海外消費生活調査団に加わってカナダ
へも。20数人の女性メンバーに男性一人。
黒一点ではなくて「白一点」といわれ
てしまいましたが、女性たちだって平均年
齢50歳でした。ちよくちよく海外に行
って見聞を広めたいと思っています。



川名好裕

情報教育学科助教授

私は、1997年4月に教育学部、情報教育学科の専任教員として川村学園女子大学に着任いたしました。

専門領域は、社会心理学、心理学です。本学では、社会心理学、コミュニケーション論とコンピュータ演習科目を教えています。

専門の社会心理学では、説得や人事交渉などの社会的影響過程や、対人関係や対人魅力などの研究分野に関心をもっています。

情報教育学科に入ってきたのは、社会心理学のほかに情報機器やコンピュータを扱ったりすることに非常な興味をもっているからです。心理学と情報学という2つの分野にわたることに自分の関心があり、その分野で教育や研究をしたいと思ったからです。

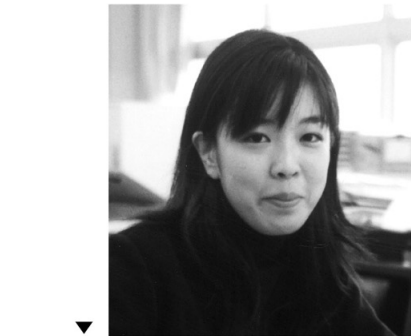
趣味は、当然、「新しもの好き」で、コンピュータや情報機器の扱いです。「たまごっち」は、持っていませんが、プリクラには時々行きます。

私の研究室は研究室みたいではないというウワサです。

末松弘行

社会教育学科教授

●専門／心身医学 ●趣味／音楽・旅行
昨年、東京大学医学部心療内科教授を定年退職いたしました。ストレスに満ちあふれる現代社会では、心と身体の健康科学（心身医学）が注目されています。川村学園でも近く心身医学を教えるようになるということで参りました。現在は、カウンセリングや老人福祉論の講義をしています。川村学園の学生さんは、敬老の日でもないのに授業の手伝いなどすすんでしてくれ、近頃めずらしいと感心しています。



粕山知子

事務部財務課

・趣味／スポーツ観戦
・ニックネーム／モミちゃん
・好きな食べもの／ケーキ
・最近始めたこと／白文鳥のピーちゃんを飼い始めました。すごく頭が良くかわいいです。家の中で楽しく飛んでいます。
・コメント／私の配属された財務課の業務はひとつひとつの仕事がとても重要なので毎日が緊張の連続です。これからもがんばりますので、どうぞよろしくお願い致します。

森嶋靖亮

情報教育学科学生研究室

私は、本年度より本学の情報教育学科「学生研究室」に勤めさせていただくことになりました。勤めさせていただく前は、専門学校の方でプログラミングを始めとした勉強をしていました。本学では授業の補佐としての「ソフトウェアの使い方」等は私の得意分野です。また、プログラミングを教える毎日に充実感を覚えています。

専門学校を卒業したということで、学生の皆さんと同年齢の方が多くいろいろと友人感覚で話し掛けてくれますので、時に休み時間などに学生と話しに華を咲かせることもあります。しかし、少々からかわれる場合があるのが玉に瑕ですが…。

未だに学ぶことの多い毎日ですが、今までの自分の出来る限りの能力を総動員し自分なりに頑張っているつもりです。これからも、自己の能力を伸ばしながら務めていきたいと思います。



教員の活動

●第30回知覚コロキウム

1997年3月26日～28日に本学心理学科の岡本先生、浅井先生、鶴沼先生が中心になり、ホテルグリーンタワー幕張で、第30回知覚コロキウムが開催された。研究発表のほか、デモンストレーション発表、シンポジウム、付近の研究施設見学が行われた。シンポジウムでは、「知覚における統合機能をめぐって」というテーマで日本大学の大山正先生や聖心女子大学の鳥居先生らの話題が提供された。

●第28回教育工学研究セミナー全国大会

1997年8月4日、5日に本学情報教育学科の古藤先生が中心になり、アルカディア市ヶ谷において、第28回教育工学研究セミナー全国大会が開催された。「生きる力」と情報教育を統合した新しい授業づくりをテーマに、研究発表や演習が行われた。講師は古藤先生のほか、本学非常勤講師でもあり、日本教育ソフト協議会事務局長でもある岩佐先生もおられた。このセミナーは、教育現場への活用

を考えた学習指導案づくりの実習もあり、盛況のうち終了した。

●日本中世英語英文学会東支部第13回研究発表会
1997年6月28日（土）に、本学において、第13回研究発表会が開催され、開会式に引き続いて、3つの研究発表と特別セッションが行われた。閉会式後、懇親会も開かれた。当日は台風接近の悪天候にもかかわらず、いずれも多数会員の参加があり盛会であった。開催校として、物心両面でご援助下さった大学当局、会場の準備から懇親会の手配に至るまですべてにご尽力下さった本学教職員・在学生の皆様に、この紙面を借りて、心より御礼申し上げる。当日の発表者は以下の通り（敬称略）。
1. 横山茂樹（京都産業大学）
2. 井出 光（東京都立大学）
3. 岩淵恭子（駒沢大学）
4. 特別セッション：高宮利行、松田隆美、岩井茂昭、Andrew Armour、奥出直人（いずれも慶應義塾大学）
（英語英文学科学科長 都留久夫）

秋山紋麻

学務部教務課

今年の4月から本学の教務課に勤めております。入学当初から、将来の職場として、「教育関係」という希望がありましたので、毎日の仕事にとても充実感を感じています。

本学在学中は、情報コミュニケーションや情報活用能力について幅広い講義を受けることができました。その中でも特に考えるところの多かったのは、「双方向コミュニケーション」です。双方に誤解を生まないためにも、私たちが相手と向かい合ったときに相手に対して発する言葉が双方向なものでなければ、コミュニケーションは成立しません。学生にとって最もなじみ深い教務課の仕事として窓口業務が挙げられますが、多くの学生と接する度に双方向コミュニケーションの重要性を感じています。

学ぶことの多い毎日ですが、4年間の学生生活で得たものをベースに頑張っていきたいと思っています。

出版物紹介

本大学の教職員の方が中心になってこの数年の間に出版されたものです。
石川宏 文学部長
『花翳抄』（詩集）1994 りん書房
石川宏 文学部長
『閑吟抄』（詩集）1997 かまくら春秋社
菊池明子 幼児教育学科助教授
『幼稚園教育実習ハンドブック』（専門書）
1996 明治図書
北村浩一 社会教育学科教授
『ほんもの探しの旅』（専門書）
1997 めいけい出版
小松省三 幼児教育学科助教授
『天地組曲』（詩画書）1996
美馬のゆり 情報教育学科講師
『不思議缶ネットワークの子どもたち』（専門書）1997 ジャストシステム
柳澤安雄 幼児教育学科助教授
『柳澤安雄ロシアの叙情をうたう1、2』（CD）1990 ビクター音楽産業

桐ヶ谷しず子 英語英文学科1992年卒

社会に出て、今年で6年目になる。卒業して、最初に勤めたのは、某総合商社の電子部であった。半導体を輸入する貿易実務が主な仕事で、海外とのやり取りが多く、学生時代に習得した英語の力をフルに生かし、とてもやり甲斐のある職場だった。多忙ではあったが、学生時代には経験できないいろいろなことを企業で得られたと思う。

そして今は……一年半前より銀座の画廊に勤めている。以前から興味があり、思いきって転職をした。企業に比べると、小さな世界だが、芸術を売るとくさんの「自由人」と出会い、私の知らなかった世界が、また一つ広がった。仕事柄、外国の人々と接することも多い。その一つ一つの出会いが、私の「感性」に磨きをかけ、さらに、企業にいた時には味わえなかった心の充足感を与えてくれる。今私は、自分にとって自分らしい生き方を見つけたのだと確信している。

齋藤みほ 心理学科1994年卒

現在入社4年目。人事部人事課に所属しています。人事課は、社員の採用から退職迄の一連の様々な業務を行っています。私は、採用時の学生の窓口や社内研修のアシスタント等を経て、現在は給与関係の業務を担当しています。とにかく文字通り「人の事」と言うだけに人との係わりが多く、個人のデータを扱う非常に重要な、また責任ある仕事をしていく上で、少しでも心理学を学んだことが活かせるよう、日々業務に励んでいます。

阿部百合子 史学科1993年卒

現在、昭和女子大学大学院で考古学を専攻している。今夏2ヶ月間にわたり、ベトナム中部の古都市ホイアンで調査を行った。この町には、17世紀頃多くの日本人が住んでいた。1647年に没した谷次郎兵衛の墓や、日本人が架けたという日本橋がその事を今に伝えている。故郷を思いつつベトナムの土となった日本人達は、異国の地でどのように生きていたのでしょうか。当時の生活を垣間見るべく来年夏、発掘調査を行う。今から楽しみです。

高玉奈美子 情報教育学科1995年卒

「小学校の先生になりたい」この夢をもち続けた私は今、期間付講師として小学校に勤務しています。毎日のように子どもたちと一緒に勉強したり、遊んだり、時には、きびしく叱ったり、ほめたり……とても忙しい仕事ですが、それ以上にやりがいがあり、楽しい仕事でもあります。

正式に採用されるためには、教員採用試験に合格しなければなりません。狭き門と言われていますが、合格するまで、仕事と勉強、両立させてがんばっていきます。

「卒業生は今」原稿募集のお知らせ

「花時計」は、大学での現在をお伝えするために学内ばかりでなく、卒業生にもお送りさせていただくことになりました。「卒業生は今」のコーナーでは、卒業生からのひとこと(200字程度)をお待ちしています。卒業年度と学科を必ずお書き添え下さい。採用分には大学のテレホンカードをさしあげます。

湯沢真紀子 幼児教育学科1997年卒

現在勤務する幼稚園は、園児数50人程度のため、各園児の顔と御父母の顔をどの先生方も一致でき、御父母との関係も身近である。

保育後は毎日職員会議があり一日の出来事や子どもの状態を話し合っている。現在、私は担任をもたず、クラス補助、壁面製作、事務等を任されている。そのため、担任をもつとわからない園中の細かい仕事を経験でき、貴重な毎日である。また、幼稚園は、人との付き合いが広い職場であると思う。

春原いずみ 社会教育学科1996年卒

社会教育主事として社会教育の現場で働いています。主な仕事は、社会全体のニーズを把握し、人々が求める社会教育事業を企画、運営することです。「社会教育のあるべき姿」「社会教育事業の組み立て方」など、大学で先生方が熱心に講義、指導してくださった事を常に頭に置いて仕事に生かそうと心がけています。多くの人の「生きがいがづくり」に携われるこの仕事に大変やりがいを感じ、毎日、楽しくはりきって仕事に取り組んでいます。



平成9年度我孫子市市民大学開放講座

開設期間／平成9年9月13日～11月1日

開設時間／13:30～15:10

開設場所／川村学園女子大学

テーマ「心のメッセージ」

9月13日(土)

身体メッセージ：ボディランゲージについて

(情報教育学科) 川名好裕

9月20日(土)

ダンカンダンスの芸術と遺産より

(一般教育課程) 森田玲子

9月27日(土)

心と体の健康法

(社会教育学科) 末松弘行

10月4日(土)

Your Language, My Language, Our Language.

(英語英文学科) Colin J. Toms

10月11日(土)

読むこととわかることの心理学

(心理学科) 川崎恵里子

10月18日(土)

デカルコマニー(合せ絵)でクリスマス・カードやパースデー・カードを作ってみよう!

(幼児教育学科) 小松省三

11月1日(土)

文字＝人と人をつなぐもの

(一般教育課程) 安藤隆弘

編集後記

- 本年最初の「花時計」をお届けする。今年度から、編集委員の総意で「川村キャンパス」をしばらく休刊にして、かわりに「花時計」を年二回発行すること、さらに卒業生にも発送して、読んでいただき、利用していただくことを決定した。ささやかなパンフレットではあるが、教職員、在校生、卒業生がお互いに自由に利用しあう情報紙となることを願っている。投稿は随時、庶務課「花時計」係まで。(O)
- この広報によって、本学の花のある風景をお届けできれば幸いです。(Mo)
- 花時計の形が時々変わるのをご存じですか?(W)
- ページ数倍増!みなさんからのお待ちしております。(Mi)

発行日／平成9年12月1日 第2号発行
制作／川村学園女子大学広報委員会
<http://www.kgwu.ac.jp/>